

昭和42年3月

平城宮発掘調査出土木簡概報(四)

奈良国立文化財研究所

この概報は、まぎに公刊した「平城宮発掘調査出土木簡概報(三)」(昭和40年10月)以後、平城宮の発掘調査で出土した木簡について、その主要なものを収録した。これらの木簡は、第27・28・29・32次の各調査地区から出土したもので、総点数は3600余点である。なかでも、第2次調査区域の宮域内部から出土した考課・遷叙に関する木簡は、その内容を検討することによって、当時の考課・遷叙の実態を知る手懸りとなり、また、この地域周辺に式部省関係の官衙の存在を推定することも可能である。

#### 一、木簡出土の地点と状況

第27次調査(ⅠA B C区)昭和40・7・22〜同41・1・17

この調査は、宮域のほぼ中心部北半にあたる第一次内裏想定地区でおこなった。検出した遺構で重要なものは、発掘地域のほぼ中央にはしる南北方向の築地で、第一次朝堂院内裏の東限を限るものではないかと推定している。木簡の出土した土壇のSWW W O は、発掘地域の南東部、南北築地から東へ約25mの地点にある(方約2m、深さ約1m)。出土した木簡は十点である。第28次調査(ⅠA C C区)昭和40・9・16〜同41・3・18

この調査は、左記池の南の小字「池尻」で、第一次内裏と想定した地域の西側にあたる地域で実施した。遺構は、溝、土壇のほか柵3条を検出したにすぎない。木簡は、南北溝のD W O N Y から29点出土し、「天平十八年」、「養老」の紀年銘をもつものがある。木簡の出土した溝からは、木製百万栴耒製品、漆塗柄頭などが出土している。

第29次調査(ⅠA A G、ⅠA A E区)昭和40・7・1〜同41・5

この調査は、宮域の東面南門(的門)推定地を含んだ地域でおこなった。その結果、宮域東面大垣は調査地域東端で発見したが、推定地に門の遺構はなく、大垣もそれ以北に連続する形跡はなかった。木簡は東面大垣の西側を南に流れる溝のD W X Y O とそれに平行する溝のD W X Y O および調査地域西端の土壇のD W X Y O から検出した。第2次調査(ⅠA A H区)昭和40・12・1〜同41・10・22

この調査は、宮域東南隅および東一坊大路と二条大路の交わる地域で行なった。この地域から出土した木簡は総数約一万三千七百余点である。そのうち一万三千余点は宮域内東南隅の南面大垣のD W X Y O と北の幅3mの裏溝で検出した。木簡はこの溝の底に堆積している上二層、とくに下層の砂質土層から出土した。そのうちでは割書・

断片が圧倒的に多く、完形品は少ないが、短冊形で側面上方部に小孔をあけて、複数の間をつらねるようにしたもの(60ノ5形式)が注目される。内容的には、多数を占める考課・選叙に関する式部省関係のものが多いとある。

また、「統券銭」、「遺言麗使」などの名辞も注目すべきものである。年紀は、神亀五年から宝亀元年にわたっているが、多くは天平宝字末年から神護景雲手間に集中している。

宮域外では南面の外堀SD/R50、同東面大垣内堀SD/R410、同東面外堀SD/R090、同延長部SD/R335、東一坊大路の東側溝SD/R391/などから木簡が出土している。SD/R50はSD/R410を合せて東に延び、SD/R090に合流する。SD/R335はSD/R090の二条大路以南の延長部にあたる。木簡が集中していた箇所は、溝の合流点やSD/R335に架せられた橋の×R020の付近であり、木が流んで木製品を含む有機物などが多く堆積したとみられるところである。木簡に伴出した遺物のおもなものは、銅銭、海老鏡・工具、帯金具などの金属製品、瓦製擬宝珠、緑釉屋瓦、木製人形、墨書土器(「主工」その他)などがある。

## 二、木簡の形態分類

- 60ノ1型式 短冊形
- 60ノ5型式 短冊形で、側面に孔を穿ったもの。
- 60ノ9型式 短冊形と推定できるもの。
- 60ノ1型式 小型矩形のもの。
- 60ノ2型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの。
- 60ノ3型式 長方形の材の両端左右に切りこみをいれたもの。
- 60ノ2型式 長方形の材の一端の左右に切りこみをいれたもの。
- 60ノ3型式 長方形の材の一端の左右に切りこみをいれ、他端を尖らせたもの。
- 60ノ9型式 長方形の材の一端の左右に切りこみがあるが、他端は折損あるいは腐蝕して不明のもの。
- 60ノ1型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。
- 60ノ9型式 長方形の材の一端が尖って他端の形態が不明のもの。
- 60ノ1型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。
- 60ノ5型式 ある種の用途をもつと推定される木製品に墨書のあるもので、その用途が判然としないもの。

608/型式 折損、腐蝕その他によって原形の判明しないもの。  
609/型式 削屑。

三、凡 例

以下、出土遺構ごとに本文を掲げる。各遺構から出土した木簡の  
既列は用途別に記載し、最上段に出土地点（アルファベット・数字）  
、つぎの段に形式分類記号（本報では千位の6を省き、3ケタで  
表わす）をそれぞれ記した。ただし、第2次調査出土の木簡につい  
ては、最上段の出土地点を省略した。

本文上下の……は折損を示し、「」が2箇所あるものは表裏に記  
載のあることを示す。

なおSATA/ROOMの雨落（第2次）より出土した考課、選叙  
に関する木簡の中で

「去上 位子従八位上伯祿廣地年廿二 河内国安宿郡」

のように「去（）」官職―官位―氏名―年の形式をもつもの  
は、削屑、断片等をあわせて多量に出土している。

これらは考課の評定（表1）、年齢構成（表2）、本貫地（表3）  
を集計し巻末に表示するにとどめることにした。この表には、別に

本文に記載したもののものこらすとりいれている。木簡では本貫地は  
郡名まで記入されているが、ここでは一応畿内のみ郡名を表  
示するにとどめた。なお、官位は表示しなかったが、无位から従六  
位まで、とくに无位から八位までが多い。これらの下級官人は畿内  
出身者が大半であり、高齢者もかなり多いことなど多くの問題を含  
んでいるが、詳細は本報告に譲りたい。

6ABE-SK3730

HK 03/ 「角俣」

6ACC-SD3825

FL 08/ 「……左□士府……」  
(削サ)

FM 08/ 「右衛士府」

「……宜相替国……」





NC 49 019

「飯四升 内口人料  
五月七日(金)生足人」

ND 51 081

「田村口人等請(合(夏))  
口口倍口口  
口口(夏)

NC 49 081

「十七日阿刀淨繼」  
「口口嶋二分」

NC 50 081

「川邊朝臣大年...」  
「合三人大馬槍前舍人口」  
「口口」  
「口口」  
「口口」

ND 50 081

「五月七日刑部弟益」  
「矢作越豆」  
「物部口口」

ND 49 019

「人給所請 齋厨拾度 海兼湯料 四月十五日巨勢了請成」

ND 51 019

「七月料要銀錢五貫五口(百方)」  
「後府口」

ND 51 011

「肥後介交易白米口口」  
「秋口 和道成」

NC 51 019

「紀伊国日高郡謝塩三斗」  
「寶龜五年」

ND 50 051

「所雲郡戸主伊口(言)口(言)口(言)白米一俵」

DE 59 032

「邑久郡八治郷口口」  
「調塩三斗」

NC 51 032

「夜突 在五藏」

NC 50 039

「短暗」

NC 49 011

「新若在牟迷(天)口(言)口(言)夜堂時年不念而大尔念訴  
而上下月語、尊人及小子寺至流 麻爾、乃天地乃惹...」

ND 51 019

「申然而己身者今問天地乃惹(言)口(言)」

NC 49 081

「日高有鹽日日高 實茂朝臣(訓カ)」  
「日高日高日口高向日口日高」

6AA1-SD 3935

OK 46 011

「少尉殿料 六月廿八日口口(曾祿)」

「進送従料三斗一升二合 十一日各日飯六升  
〇日各日飯四升 〇 (死カ)

00 47 08/ 「謹辭 申請間食事

〇〇〇〇人 (香)

「近江國栗太郡 〇

0K 46 01/ 「又陰陽師給二升

西宮 〇

〇〇〇〇

十月六日 〇 (裏面に習書あり)

00 46 08/ 「主筆署 〇〇〇

(請ッ)

「〇〇〇請 〇〇〇 (如件)

0N 46 08/ 「山田阿古万呂 一升八合  
小万呂

0T 46 01/ 「拔在九枝 見假十一人 以上 〇 (暇カ)  
未到若麻績 〇 土師益人 左衛門自指乙麻呂  
(朝川 淨十ドノ習書アリ)

六月廿三日 慶井彦石  
(川高 淨鼓ナドノ習書アリ)

00 46 08/ 「請 〇木一枝 栲一束 上件等物 〇

0N 46 08/ 「五六寸折十四枚 歩板十枚 〇

00 46 08/ 「〇〇〇 宿侍舍人三人 未選米宿林宮継

物部忍豆

「廿七屯 人別九屯

十月十二日 水宮継 〇

00 45 08/ 「献上鍋一籠 〇〇日 〇 (依昨カ)

「不 〇以外得高客有 〇 (應)

00 46 08/ 「可 召送東大寺司 〇

0P 46 08/ 「付勅旨進 〇 (之カ)  
用問度六荷 〇

「大御様万呂 〇

0K 46 08/ 「〇 〇

已皆半表二荷 〇

00 46 08/ 「夕尾張提長 〇  
夕伊賀小足 〇

夕大原 〇〇〇 (手カ)

00 46 09/ 「鴉懸慶刀自 〇

「菰春宮 〇

00 46 08/ 「須々保利 〇

「慶岡郡備米五斗 〇

0N 46 08/ 「部酒人 〇

「賣賣賣賣賣 〇  
買買買買買 〇

00 46 08/ 「賣賣賣賣賣 〇  
買買買買買 〇



6AA1-SA4120-Aの雨落溝

- |              |                       |              |   |
|--------------|-----------------------|--------------|---|
| CT 67<br>019 | 「式部省召 書生佐為宿祿諸麻呂」      | CT 58<br>061 | 「上日」 (題籤・表裏同文)  |
|              | 十二月廿□□                | CT 64<br>190 | 「国解上日」 (題籤・表裏同文)  |
| CT 67<br>015 | 「式部省口 □度皆方呂 □令□悉向奈莫□」 | CT 59<br>061 | 「資人放出」 (題籤)   |
|              | □九日                   | CT 59<br>011 | 「大學寮解 申宿直官人事」<br><small>復外大属□新清□ (道方)<br/>天平神護元年□□</small>  |
| CT 66<br>091 | 「式部省口」                | CT 60<br>011 | 「大學寮解 申宿直官人事」<br><small>少允從六位上紀朝臣直人<br/>神護景雲四年八月廿日</small>  |
| CT 66<br>091 | 「式部省」                 | CT 59<br>011 | 「大學寮解 申宿直官人事」<br><small>直講正八位上源直公水通<br/>天平寶字八年八月十一日</small> |
| CT 59<br>011 | 「式部省牒」                | CT 59<br>011 | 「散位寮解 申宿直事」   |
|              | 「式部省移□」               |              | 「直丁宗部□」   |
| CT 64<br>061 | 「諸司移」 (題籤)            |              | 天□神護□十八日  |
|              | 「神護景雲三年」              | CT 60<br>011 | 「散位寮解 申宿直官人事」<br><small>少屬從六位下檜前舍人連安麻呂<br/>寶龜元年十</small>    |
| CT 55<br>061 | 「諸司移」 (題籤・表裏同文)       | CT 66<br>091 | 「從六位下檜前舍人連安□朝為為鳴嶋」  |
|              |                       | CT 66<br>091 | 「河内職解 申宿直」  |
| CT 61<br>190 | 「諸家并□ 諸司□□」 (題籤)      | CT 60<br>081 | 「宿直官人事 大属」  |
| CT 66<br>061 | 「史生省掌」 (題籤・表裏同文)      | CT 62<br>081 | 「解 申宿直官人事」  |
|              | 神護景雲元年                | CT 59<br>091 | 「宿直官人事」   |

CT 67 032 「无位田邊史慶(調カ)進積勞錢伍佰文  
攝津國 住吉郡 神龜五年九月五日勸錦織  
秋遊

CT 67 032 「位子山邊君忍熊資錢五百文

「神龜五年九月七日勸紀原東人

CT 67 032 「守部首廣巳錢五百文

「神龜五年九月廿二日勸秦(並カ)

CT 67 032 「位取直龍錢五百文

「神龜五年十月一日勸物部

CT 67 032 「依智秦公

「進錢 神龜五年十月十四日

CT 67 011 「少初位下大縣(末カ)錢五百文

「勸尾張小塞真國

CT 67 032 「大伴真人井上伊美(人カ)錢五百文

「神龜(檢校カ)月(人カ)

CT 67 032 「益田若庵麻呂續勞錢(五カ)  
神龜年(五カ)月廿七日

CT 67 032 「位子雀部朝臣道與錢伍佰文  
(秦カ)(筆カ)

CT 66 011 「去上位子從八位上伯詠廣地(村カ)河内國安福郡

CT 60 015 「去上從八位下(村カ)守公麻呂河内國志紀郡上日千

百十船(稱カ)

CT 66 015 「去出位子无位日置范尾(廿カ)年四

CT 60 015 「去大初位下(右京)公年五十六

CT 66 091 「去上雷省大初位上秦忌寸祖足

CT 66 091 「去上蔭子无位秦

CT 66 091 「去中真人

CT 66 091 「去出身

CT 59 091 「死大初位下秦忌寸麻

CT 60 091 「去不正八位下

CT 60 015 「去不從八位

CT 59 015 「去不真人

CT 61 015 「去上(今上)大初

CT 64 091 「年廿八」  
 CT 63 091 「素重麻呂年廿」  
 CT 63 091 「額田部小麿五十」  
 CT 63 091 「秦忌寸床豆年」  
 CT 67 091 「番位子少初位下黄文子老」  
 CT 59 091 「下守公真角年」  
 CT 61 081 「六十人」  
 CT 61 081 「伊勢麻呂右京人」  
 CT 66 091 「豆年廿八、江カ」  
 CT 66 091 「河内国石」  
 CT 63 091 「物部石通年」  
 CT 63 091 「麻呂大和国葛上郡人」  
 CT 51 091 「養宿祢国豆年五十八」  
 CT 60 091 「秦人真田麻呂年廿」  
 CT 66 01 「去今不位子天淨足達」  
 「上望麻呂公前」

CT 66 091 「丹生公豆伊勢」  
 CT 61 091 「麻呂上総国夷瀧」  
 CT 63 091 「丹生公豆伊勢」  
 CT 66 091 「乙麻呂攝津国住吉郡人」  
 CT 66 091 「无位丹子毗登人長河」  
 CT 63 091 「上弓削達志己止理河」  
 CT 63 091 「世達三田麻呂河」  
 CT 66 091 「无位」  
 CT 66 091 「賀国名郡人」  
 CT 66 091 「无位」  
 CT 66 091 「常陸国那」  
 CT 66 091 「近江補生郡人」  
 CT 59 091 「信濃」  
 CT 66 091 「若狭国」  
 CT 66 091 「能登国羽咋郡人」  
 CT 66 091 「国多可郡人」

CT 59	CT 59	CT 59	CT 66	CT 66	CT 66	CT 59	CT 66	CT 59	CT 59	CT 66	CT 66	CT 66	CT 66	CT 59	CT 66	CT 66	CT 66
091	091	091	091	091	091	091	091	091	091	091	091	091	091	091	091	091	091
陸奥	信濃	美濃国加茂	美濃国	常陸国	常陸国鹿嶋	藏国	相模	相模	豆国	国有彦郡	遠江国長	碧海郡	尾張国	伊賀国	伊勢国河曲郡	備前	

CT 66	CT 63	CT 66	CT 66	CT 66	CT 59	CT 66	CT 66	CT 67	CT 59	CT 64	CT 64	CT 51	CT 68	CT 63	CT 59	CT 63
091	091	091	091	091	081	091	091	091	091	091	091	091	039	091	091	091
留省少初位上坂本朝	藤孫无位錦部	位子无位小山田連徳	真人留省	真人留省	山田郡	山田郡	国越智郡	周防国	安藝国	備後国安那郡	前国上道郡	播磨国	播磨国	播磨国印南郡	但馬国出石郡	波国多紀

CT 66 09/ 「秦歳嶋」  
 CT 66 09/ 「尾張連東人」  
 CT 60 09/ 「小治田豊名」  
 CT 60 09/ 「大市大豆」  
 CT 59 019 「大伴宿祢不破麻呂」  
 CT 61 08/ 「鶏甘マ乙麻呂」  
 CT 67 09/ 「畫師安倍」  
 CT 66 09/ 「无位田茂麻呂」  
 CT 66 09/ 「□□□□□□等下村主淨道」  
 CT 58 09/ 「位下中臣藍連道」  
 CT 66 09/ 「位上倭毗登麻呂」  
 CT 67 09/ 「申司中臣大初位下中臣」  
 CT 60 09/ 「初位額田白麻呂」  
 CT 60 09/ 「初位仲丸子国豆」  
 CT 67 09/ 「大初位下尾張豊方呂」  
 CT 66 09/ 「從八位下半半乳公豊成」  
 CT 60 011 「散位正六上石川古方呂」  
 CT 63 08/ 「□□□□買人護□国山田郡宗茂部□」

CT 67 09/ 「山人遣大唐使」  
 CT 63 011 「外從初上物部淨人」  
 CT 59 015 「依遣高麗使迴來天平寶字二年十月廿八日進三階叙」  
 CT 53 05/ 「諸司叙位案」  
 CT 60 08/ 「省符 上日百七十」  
 CT 62 09/ 「□□五百廿六」  
 CT 63 09/ 「九百五十八」  
 CT 60 09/ 「六考日一千」  
 CT 63 09/ 「四考日一千七十二」  
 CT 67 09/ 「考日二千三百廿一」  
 CT 67 09/ 「懈善」  
 CT 67 09/ 「勤於記事替失无」  
 CT 67 09/ 「訪察精」  
 CT 67 09/ 「執當鞆了」  
 CT 61 09/ 「九部麻呂」  
 CT 63 09/ 「秦佐智麻呂」

CT 59 011 「三〇 京官〇〇合十九〇」  
 CT 67 015 「合一百卅八人 七人八位 卅三人初位 二人勲位 一百六人无位 應進階卅九人 大炊寮」  
 CT 67 032 「新考文」  
 CT 67 091 「帳内資人選」  
 CT 67 091 「(司カ) 考選」  
 CT 67 091 「考舍人監」  
 CT 67 091 「一考式部省蔭子」  
 CT 66 091 「(部位カ) 〇〇子 四考左衛士府」  
 CT 66 091 「下從八位下」  
 CT 63 091 「今正八上 正八下」  
 CT 59 019 「〇〇〇階叙」  
 CT 63 091 「月廿八日見 勅進一階叙」  
 CT 59 091 「月廿八日見 勅進」  
 CT 63 091 「日恩 勅進一階叙」  
 CT 66 081 「神護二年三月廿六日恩 勅叙〇〇」  
 「〇 府 串〇 符 符」

CT 67 091 「不滿」  
 CT 63 091 「不滿不考」  
 CT 67 091 「〇 貶并不注」  
 CT 67 091 「〇 仍為未考」  
 CT 63 091 「(注カ) 〇 不考申送省」  
 CT 66 091 「免外〇」  
 CT 66 091 「(免カ) 〇 左大臣」  
 CT 66 091 「免陸奥國」  
 CT 61 091 「免從五位下壹」  
 CT 66 091 「免主水司水」(部カ)  
 CT 66 091 「免正三位藤原朝」  
 CT 63 091 「〇 仲万呂支儻」  
 CT 63 091 「〇 依仲麻呂支儻除」  
 CT 66 091 「判留今年三月廿」  
 CT 65 019 「景雲二年十月八日任」  
 CT 66 091 「遷任 蔭子无位〇〇」  
 CT 66 081 「〇〇 正六位下六人」  
 「天平勝寶〇年」(五カ)









CT 60 091 「□□朝臣□□  
 急長真人遠足...」  
 CT 60 091 「從八下日下部□万呂 正十□」  
 CT 60 081 「...並□成 少上半奈比□...」  
 「從八下三田本起」  
 CT 63 091 「(族三) □□位藤原朝臣永□」  
 「(手九)」  
 「三從四位下藤原朝臣」  
 CT 67 091 「...四品長谷内...」  
 CT 66 091 「名草王」  
 CT 60 091 「...足 東方王...」  
 CT 60 081 「...園方女王...」  
 「...書□□王□」  
 「...位□□」  
 「...位□□」  
 「...位□□」  
 CT 61 091 「...吉備命婦...」  
 CT 60 091 「大宅月足 □□□」  
 CT 64 091 「...白丁磯部夏成木...」  
 「(五才)」  
 CT 60 091 「...内藏真嶋 右大臣」

CT 66 091 「...神祇官...」  
 CT 67 091 「...中務...」  
 CT 67 091 「...主殿寮...」  
 CT 66 091 「...典藥□」  
 CT 67 091 「...縫殿...」  
 CT 67 091 「...散位寮...」  
 CT 60 091 「...散位寮...」  
 CT 67 091 「...民部省...」  
 CT 67 091 「...宮内省...」  
 CT 67 091 「...大炊寮...」  
 CT 67 091 「...大炊...」  
 CT 63 091 「...内礼司二人□」  
 CT 67 091 「...右兵衛...」  
 CT 67 091 「...右京職□...」  
 「(省)」  
 CT 60 091 「...勅旨□...」  
 CT 67 091 「...中才 備定司无位□」  
 CT 67 091 「...波宮司...」

CT 63 091 「大納言」  
 CT 59 091 「大納言□□□□□」  
 CT 67 091 「見左大舍人」  
 CT 67 091 「左大舍人」  
 CT 59 091 「式史生」  
 CT 67 091 「掃内掃部司掃部少初位下」  
 CT 67 091 「寮使部從八位下」  
 CT 67 091 「衛門使部」  
 CT 67 091 「大宰府使部」  
 CT 66 091 「司番上工」  
 CT 66 091 「田女王位分」  
 CT 67 091 「内資人」  
 CT 59 091 「位分資人」  
 CT 67 091 「儀仗」  
 CT 67 091 「司判官正六位下勲十二等□□」  
 CT 67 091 「少丞勲十二等」  
 CT 61 091 「少屬從七位」

CT 67 091 「主典」番長  
 CT 58 091 「目正六位上□」  
 CT 61 081 「廿一日朝集」  
 CT 66 091 「朝集」  
 CT 67 091 「卿兼知司事」  
 CT 67 091 「上攝津織少」  
 CT 59 019 「請飯一二升許 大人謹状」  
 CT 60 081 「十二月廿九日」  
 CT 60 110 「十二月四日受米四斗八升」  
 CT 60 110 「十五日四升 三中」  
 CT 60 181 「十六日一升 三中」  
 CT 60 181 「廿八日九百九十文 米壹石五」  
 CT 59 110 「十二月十日貳升 宮万呂」  
 CT 59 180 「十二月九日三升今別」  
 CT 59 180 「廿五日□□綿十斤□□」  
 CT 66 180 「付難波」  
 CT 66 180 「純十二返糸十二絢布廿六端□□」

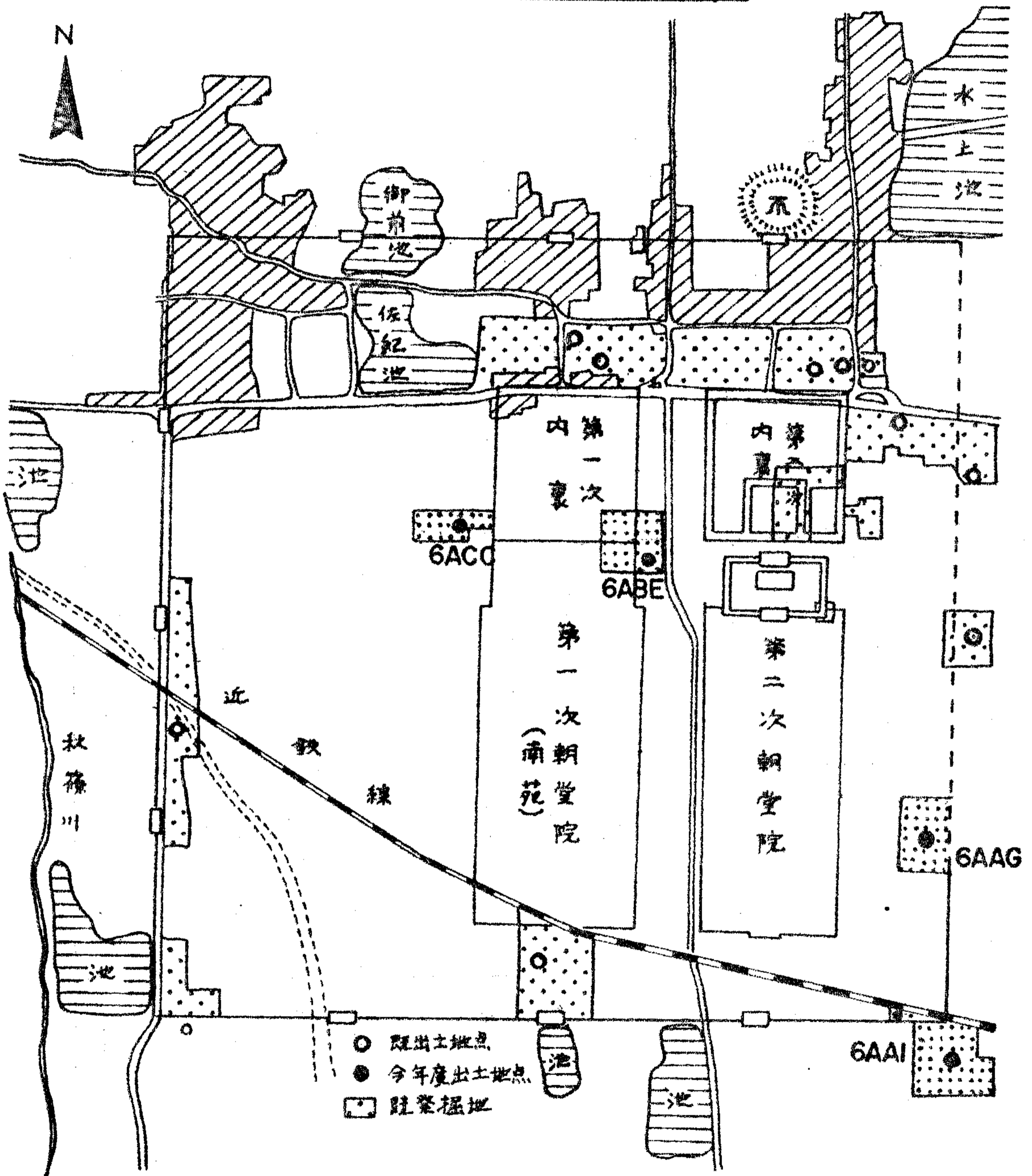




(表 3)  
本質地

高市	城下	城上	吉野	忍海	葛上	廣瀬	平群	添下	添上	大和	右京	左京
/	/	3	2	/	2	2	2	/	/	30	22	10
古市	錦部	河内	郡未詳	相樂	宇治	愛宕	葛野	乙訓	山城	郡未詳	山邊	十市
4	/	36	7	/	/	10	2	/	22	12	/	/
根津	郡未詳	和泉	和泉	郡未詳	丹比	志紀	若江	交野	茨田	高安	大県	安倍
17	2	3	5	11	2	3	2	/	/	6	3	2
遠江	三河	尾張	伊勢	伊賀	(畿外)	郡未詳	安原	河邊	豊島	西成	百済	住吉
5	5	2	2	2		6	/	/	2	4	2	/
能登	若狹	陸奥	信濃	美濃	近江	常陸	下総	上総	武蔵	相模	伊豆	駿河
/	2	2	2	3	11	3	3	3	/	/	/	/
肥前	伊豫	諸岐	紀伊	周防	安芸	備後	備前	播磨	但馬	丹後	丹波	越中
/	2	/	2	/	/	/	3	4	3	/	2	/

# 木簡出土地点略图



- 既出土地点
- 今年度出土地点
- 踏査掘地

平城宮発掘調査出土木簡概報(四)正誤一覽

頁	段	行	20	19	17	13	9	7	6	5	4
	下	表2	下	下	上	上	下	下	下	下	下
			12	1	5	4	12	6	7	8	
41	誤		生部 [ ] 理	道豆	見勅	0166 011	扁米	[ ] <sup>(書)</sup> 夜	額田マ扁 [ ]	凡直 [ ]	
50	正		生部直 [ ] <sup>(信)</sup> [ ] <sup>(庵)</sup> 理	道豆	見勅	0167 015	扁米	[ ] <sup>(書)</sup> 夜	額田マ扁 [ ]	凡直 [ ]	